

師友道友の活動を綴る善行伝承誌

第0108号

2025.8月号

NPO法人福岡実践人

すべて最低絶大基本線の確保が大事であって、何か一つ、
これだけはどうしても守りぬき、やりぬく——という心がけが
肝要です。

森信三先生一語千鈞より

再生



再生の題字（森廸彦様提供）は、森信三先生の直筆です。



「二〇二五年になったら、日本は再び立ち上がる兆
しをみせるであろう。二〇五〇年になったら、列国
は日本の底力を認めざるを得なくなるだろう」

令和七年

父親 人間学 入門

森 信三先生 講述

実践人福岡仁風読書会 第一〇八回 七月二六日
場所：仁風庵

―父として・人間として―

十八 逆境と天命

山又山

前章においてはハガキの活用によって、真に心の通う仲間づくりをお奨めいたしました。これも人生というもんは、順風満帆の時ばかりではなくて、時には逆風にあふられ、否、時には逆巻く怒濤に見舞われることも大いにありうるからであります。そういう苦難逆境遭遇したとき、真に心通う恩師や道友というものが、いかに有難いものであるかを、しみじもと痛感するのであります。

いかに多くの友だちに恵まれているものでも、そういう時、真に心の通う友というものは、二・三人数えあげられればよい方でありまして、人間は苦境にあつて真にわかつて呉れる二・三の心友があれば至幸至福と言ふべきであります。

一口に逆境といつてもいろいろありますが、大別して(一)家庭内のこと、(二)職場や仕事上のこと、及び(三)一身上の事と言えるのではないかと思います。深刻な家庭苦の一つとして、障病児を持ち、生涯の十字架を背負っておられる方もあれば、またいたいけない幼児を交通事故のため亡くされた痛苦から、一生忘れられぬ方もいられます。また倒産の憂目にあい、失職浪々の身となれた方や、ある失脚によって左遷されて懊悩の日々を送っていられる方もおありでしょう。またこれからという働きざかりの時期に、長期にわたって病床に呻吟しなければならぬような運命の方もいられます。それほど深刻でなくても、人はみな大小さまざまの辛酸苦勞を背負って生きているものであります。ですから人間の一生というものは、一難去つてまた一難で、山又山の連続と申せましょう。

こういう覚悟の上に立つてわたくしたちは、生涯逆境に処する態度を学びつつ生きて行きたいと思うわけであります。

肚をすえる

ところで、その「逆境に処する態度」ということですが、それより前に、ごく最近知りあつた中途失明の婦人のことを申し上げましょう。その人は大学卒業後貿易商社に勤められ、海外生活の経験もあつて三力国語にも通じるほどの頭脳明晰にして美貌な方ですが、三十歳にして失明という苛酷な運命に遭遇せられました。そしてその後結婚し、家庭婦人として日々を生き抜いておられますが、しかし今日に到るまでの苦難の道は、並大抵のことでは無かつたろうと思われのであります。自殺未遂四回とのことですが、これだけでも如何に悪戦苦闘せられたか、察するに余りあるものがあります。最初はどうしても自分だけが、こういう苛酷な運命を背負われねばならぬのか――とあがきもがれたことでしょう。そうした疲労困憊の果てに、「どうにもならぬことはどうにもならぬ」こととして、つまりマインスはどこまでもマインスとして、そこに肚をすえるより他ないという全的肯定の境涯に達せられたようであります。これは、障病児をもつお母さんたちの心境とも全く軌を一にするもので、与えられた運命を背負って立つ覚悟、すなわち根本の肚のすわりが、何としても一ばんの土台であります。「肚をすえる」などと申しますと、全く非合理的なコトバとして歯牙にもかけない人の中にはおありでしょうが、人間は観念では救われないもので、観念が肉体化せられなくては、運命超克の一路は開かれないのであります。

人間は観念では救われない

ついでながら「安心立命」とか「自己充足」とかという境涯の基盤をなすものは、結局は心の「肚をすえる」ということでしょう。肚とは、古来言われるところの臍下丹田ということであり、まして、この丹田の一点に力がこもることを丹田充実と申すのであります。

これによって、観念が単なるキレイゴトに終始せず、はじめて肉体化せられ、真に境涯の進境となるのであります。わたくしがつねに申している「立腰」すなわち腰骨を立てるということも、「立体性の確立」という観念の肉体化なのであります。このように、観念だけでは人間は救われないのは、もともと人間は「心身相即的存在」だからであります。転変きわまりない心が肉体に座を持たなくてはならぬ原因も、この人間の根本制約によるものなのです。

話はやや外れたようですが、本論の「逆境に処する態度」の第一として、自分に与えられたマイナス面を、絶対不可避な絶対必然として、ここに肚をすえる他ないということです。第二には、このマイナス面はマイナス面として踏まえながら、渾身の力をふりしぼって、このマイナス面をプラスに逆転し反転して生きることでもあります。これは裏がえせば、そういう潜在的エネルギーが秘められていればこそ、神はこの人に逆境的試練を加え給うたのだとも言えましょう。

逆境は神の恩寵的試練

ですから、逆境はすべて神の恩寵的試練であると申せましょう。ところがこれは最初からそうは思えないものでありまして、何年かたつてみて、はじめて逆境の中に秘められていた神の恩寵に気づくというのが、われわれ凡人の道ゆきであります。わたくし自身も八十五年の生涯をかえりみまして、まことに迂余曲折、蹉跎たる人生でしたが、今ふりかえってみまして、その運命や逆境のひと節ひと節が、わたくしの人間形成にとって不可欠の絶対必然の道程として回想せられるのであります。しかも「極陰は陽に転ずる」と易に示されるように、逆境のどん底というものは、まず三力年ぐらいで、それを過ぎますと幽かな微光が射しそめるというのが、わたくしの経験上実感であります。そしてその三力年のうちでも、真の極陰期は一年くらいとも言えましょうか。この雌伏期

に泰然として肚をすえることが、何よりも大事な心構えと態度ではなからうかと思えます。この様に「肚をすえる」ことによって、そこから初めて絶対に通じる真の智慧の微光が射し初めてくるものであります。何となれば、「肚をすえる」とは、「比較相対を超える」ということだからであります。

そしてこの肚が決まると同時に、自分に課せられた神の恩寵的試練というものが仄かに感得せられるのであります。

両方良いことはない

さて、こうした面から考えてみますと、逆境というマイナス面のウラには、「秘匿の恩寵」ともいうべきプラス面が秘められているのであります。またその反対に、上昇気流にのったプラス面の展開期には、よほどの人でない限り、人間は必ずおごり・たかぶり・人の気持ちの察しがつかなくなり、これが人心離反の因となり、「蟻の一穴」ともいえる千蟻の悔を残すことにもなりかねないのであります。このように、物にはすべて表裏があります。これこそ、「陰中陽あり、陽中陰あり」という一面を免がれぬのであります。これこそ、一般に言われておりますところの、「ものごとには両方良いことはない」ということであり、これこそが不動の真理平易な一言に表明せられたものであります。これはまた言いかえますと「ものごととはすべて一長一短」というわけであります。

わたくしはこの頃よく相談をうけたときには、マア四分六で、わたしならこの方をとりますナ、とお答えする場合があります。つまりいづれか二者選一に迷うということは、いづれにも一長一短があるということでありまして、その場合の両者の利点をくらべてみて四分と六分であれば、六分の方をとるとというのが私の方針であります。

このように申せば、まことに簡明にして平易な真理といえますが、これほど現実を透察した真理はないとも思えるのであります。わたくしは生涯哲学を学びつつ教育にたずさわって来たものですが、七十歳にして真理のこのような庶民的表現に心打たれてガク然としたものであります。まことに恥ずかしい次第ですが、真理の開眼、透察というものは、まずはこのようなものではないでしょうか。

第一章 掃除が奇跡を起す

人が軽く見るもの、見逃すものを大切にする

私は掃除を四十五年続けてきた間、さまざまに掃除のしかたを工夫してきました。トイレ掃除でいえば、使う道具や洗剤、洗う順番、道具の洗いや片付け方など、細かいところにわたって「もつと工夫できるところがないか」と試行錯誤を積み重ねてでき上ったやり方があります。

現在、私のもとに、

「掃除のしかたを教えてください」

と言って尋ねてきてくださる方々が大勢いらっしゃいます。その際には私の掃除法をすべてお伝えするようにしていますが、ときにはどうさんの絞り方まで細かく指導することがあります。もしかしたら聞いている人は、

「何もそこまでやらなくても」

と思っっているかもしれませんが、それは違います。

掃除という凡事を極めようと思った私は、雑事を「雑なこと」にしないよう、すべてに手抜きをせず、どうしたらよくなるかを考えてきたのです。それが心を込めるということであり、「平凡なことを非凡に努める」ということです。

人が「そんなこと」と思うことまで気持ちを込める。人が見逃していることまで常に心を配る。それを徹底することで、はじめて何かが見えてくるのだと思います。

人間は特別なことをしようと思いますが、特別なことというのはそういうものではありません。特別になりたいと思ったら、人が見過ごしたりしているものを見いだし、手間ひまをかけて育てる必要が

あります。そして、やる限りは打算をもたずにひたすらやることです。

ものを本来の姿に戻す

イエローハットでの会社まわりの掃除や、全国各地の地域での街頭掃除の際には、道路の側溝の中まで掃除をします。道路の側溝というのは、枯れ葉などのゴミが詰まっていることが多いのです。そこをふたを外し、中に設置されている雨水を流す装置まで取り外してきれいにします。

そんな公共のところまでやる必要はないのではないか、という人もいますが、流れるべきものが流れないと、さまざまな支障が生じます。雨水が流れなくて道路にあふれば、それだけ汚い水がずっと淀んでいるということになります。

人間でも血管が詰まったら病気になると同じように、水を流すための場所は、水が流れるようにしてやらなければなりません。それが公共のものだからやらなくていいのではなく、ものがあるべき姿にするために誰かがやらなければいけない、だからやるのです。

問題を先送りしたら、誰かがやるはずだからいい、と逃げだしたりしてはいけません。

ものにも心があります。果たすべき役割を果たしたとき、ものは喜びを感じることでしょう。「ものがあるべき姿にする」ということは、ものを大切に使うことにつながるのです。



日本一きれいな博多駅・福岡の街に！

第 380 回

博多駅 早朝清掃

毎月 **8** 日 午前6時15分～

【第一回】平成5年12月8日開催

福岡実践人・JR九州博多駅
精華女子高等学校・福岡掃除に学ぶ会

 ハウスメイト



第380回 博多駅早朝清掃 32年目

7月8日(火曜日) 39名参加



博多駅早朝清掃380回、中田宏環境副大臣（当時）がサプライズ参加されました。
日本単独ではなく世界の環境問題にとって、欠けてはいけな存在の中田宏さんです。これから未来永劫、掃除に取組み掃除に学ぶ道友として応援し続けます。福岡掃除に学ぶ会世話人：けさえもん 拝



博多祇園山笠 飾り山



中田宏環境副大臣（8/8時点）が参加されました



司会進行をする精華女子チーム



次は総理大臣を目指してください



2025.7.5～6 於：多賀城掃除に学ぶ会30周年記念大会／宮城県



宮城県多賀城市立多賀城小学校



多賀城市長と歓談する袈裟右衛門



お掃除実習の様子



2025.7.12 於：夢拾い本部800回記念大会／広島県



早朝 4 時 3 0 分 集合



西城駅前のグレーチング掃除



上野さん 木南さんの対談



2025.7.19~20 於:第16回関西ブロック大会／大阪天満宮



会長《日本を美しくする会》副会長



お掃除実習後の集合写真



交流会で挨拶するSora



お掃除実習の感想発表Sora

今回初めて「関西ブロック大会」に参加させていただいて、貴重な経験を得ることが出来ました。最初は慣れない場所でたくさんの凄い人達に囲まれて緊張していましたが、皆さんが優しく声を掛けてくださり緊張がほぐれていきました。二日目のお掃除では班のベテランの皆さんから多くの気づきや工夫を学ぶことが出来ました。また、普段の生活の中では中々関わる事の出来ない方々や場所に触れることが出来、視野が広がったなあと感じます。

今回の経験を活かして、これからも沢山の場所でお掃除をしつつ学びを深めていきたいと思いました。 Sora

2025.7.20 於：戒壇院作務に学ぶ会



2025.7.20 於：姫路駅夢拾い





楽農人放浪記 044

福岡県糟屋郡志免町

25.7.8



仁風庵にやってきたアイタCar



黒ニンニクを試食するアイタGirl



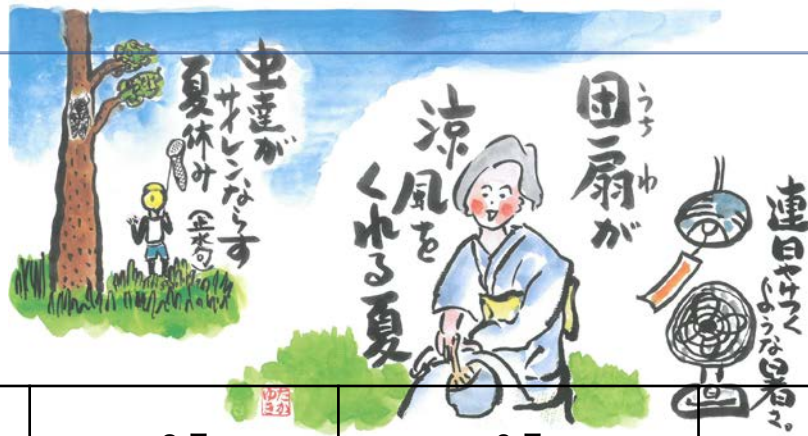
福岡のKBCラジオ放送の生中継番組「ふるさとWish」に出演しました



於：鹿児島県薩摩川内市 飯島



鹿児島6月の大雨で、飯島古寺圍場の水路が崩壊しました。



	8月						9月						10月						
日	3	8	16	17	17	23 ～ 24		8	13	19	20	21	21		8	11 ～ 12	18	19	19
曜	日	金	土	日	日			月	土	金	土	日	日		月		土	日	日
行事活動名	長目の浜海岸清掃 第31回	博多駅早朝清掃 第381回	福岡空港ミリオン清掃87回 夢拾い	太宰府観世音寺 トイレ掃除 第1回	戒壇院早朝作務 第26回	実践人の家 夏季研修会	長目の浜海岸清掃 第32回	博多駅早朝清掃 第382回	関東ブロック大会	大正村掃除に学ぶ会 第32回年次大会	掃除実習	太宰府観世音寺 トイレ掃除 第2回	戒壇院早朝作務 第27回	長目の浜海岸清掃 第33回	博多駅早朝清掃 第383回	山形に学ぶ会 令和7年度年次大会	奈良掃除に学ぶ会 年次大会	太宰府観世音寺 トイレ掃除 第3回	戒壇院早朝作務 第28回
場 所	鹿児島県薩摩川内市	博多駅博多口	福岡空港周辺	太宰府市観世音寺内	太宰府市戒壇院境内	尼崎	鹿児島県薩摩川内市	博多駅博多口	千葉県茂原市	岐阜県恵那市	同左 明智中学校	太宰府市観世音寺内	太宰府市戒壇院境内	鹿児島県薩摩川内市	博多駅博多口	出羽三山	奈良県	太宰府市観世音寺内	太宰府市戒壇院境内
開始時刻		6時15分		5時30分	5時30分		6時30分	6時15分		16時00分	7時45分	5時30分	6時30分	6時30分	6時15分			5時30分	6時30分
運営団体	楽農人 とんぼろ海掃除隊	福岡掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	太宰府作務に学ぶ会		実践人の家	楽農人 とんぼろ海掃除隊	福岡掃除に学ぶ会	関東ブロック	大正村掃除に学ぶ会		太宰府作務に学ぶ会		楽農人 とんぼろ海掃除隊	福岡掃除に学ぶ会	大正村掃除に学ぶ会	奈良掃除に学ぶ会	太宰府作務に学ぶ会	



根っ子の友は
ありがたき
哉

上記行事予定表は、富吉の参加予定の行事を掲載させていただいています。
その他、活動しているお掃除実践もごございますので、事務局にお問い合わせください。

発行人(編集人)富吉 製装右衛門

◇NPO法人福岡実践人 福岡掃除に学ぶ会

Lineグループ運営:福岡清爽クラブ

◇福岡仁風読書会

◇NPO法人楽農人 とんぼろ掃除に学ぶ会

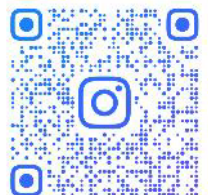
〈合同事務局〉〒811-2247

福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 《仁風庵》

TEL 092-931-8155 FAX 092-931-8120

E-mail fukusoukai@souji.link (掃除)

こしき仁風庵:鹿児島県薩摩川内市里町里90番地



@F_JISSENJIN

